

三位一体後第二十五主日

泉のほとり

今月の詩編「第二十七編」

ひとつのことを主に願い、

それだけを求めよう

命のある限り、主の家に宿り

主を仰ぎ望んで喜びを得

その宮で朝を迎えることを。



祭司の王国

エジプトから導き出されたイスラエルが紅海を渡り、毎日神の養いを受け、たどり着いた場所は、かつて主がモーゼをお呼びになつた神の山、シナイ山でした。乳と蜜の流れる地、カナンへ向かう前に、主なる神が言わされました。「あなたちは見た。わたしがエジプト人したこと、また、あなたたちを鷺の翼に乗せて、わたしのもとに連れて來たことを」と。更にイスラエルを鷺の翼に乗せ、ここまで運ばれた意味を明かされます。「今、もしわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るならば、あなたたちはすべての民の間にあつて、わたしの宝となる。世界はすべてわたしのものである」と。

世界はすべて神のものです。しかし、この世は自分の造り主を知らず、それぞれの方角へ向かって行き、神が定められた秩序を踏み躊躇の歴史を築いてきました。その世界に対し、慈しみを注ぎ続けてこられた主は、最も小さな民イスラエルを選び、「世界はすべてわたしのもの」と明かされ、彼らに「わたしの契約に聞き従うなら、あなたをわたしの宝とし、祭司の王国、聖なる民とする」と語られたのでした。エジプトの奴隸に過ぎなかつた者たちを「祭司の王国」とすると言われたのです。

祭司とは「人が神に近づくことができるよう、神と人ととの間に立つて執りなす者」です。自らを犠牲にし、人が神に近づけるようにとする者です。全世界においてイスラエルをそのような祭司の國にされると言われたのです。主はイスラエルをこの世の罪からきよめ、聖なる民、ご自分の宝とするために、十戒をはじめ、律法を与えられるのです。また聖なる祭司を立てられ、「いけにえ」と共に各々自らを犠牲にし、人が神の前を生きるものとなるよう、努めさせたのでした。

その恵みを受け、人自身も聖なる祭司のように、自分のためではなく隣人を自分の体のように愛するその幸い、祝福された道を生きるようにとされたのです。

紅海を渡り、荒野でマナを食べ与えられ、養われたイスラエルにカナンの「土地」が与えられました。主が紅海と荒野を通らせたのはご自分との契約を結ぶためです。なおカナンに導き入れたのはご自分との契約に従い、「ご自分の宝、聖なる民、祭司の王国にされるためです。

エジプトから贖われたイスラエルのよう、私たちをもこの世から贖い出されたのは、私たちが目に見える国ではなく、キリストが十字架を通して示された神の義による、神の国を受け継ぐためです。この品川という地に私たちを住ませた神のお導きに感謝したい。と共に、私たちの歴史にあらゆる御手の業を示され、究極的には教会を「祭司の國」とされたいとの主の御心を、最大の教会の使命として歩んでいきたいと思います。

使徒ペテロは、シナイ山で神と交わされた契約が今やキリストの教会に続いていることを教えています。「聖なる祭司となつて神に喜ばれる霊的な『いけにえ』を、イエス・キリストを通して献げなさい」と。そのためには「すべての悪意、すべての偽り、偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、生まれたばかりの乳飲み子のよう、純粋な、靈の乳を慕い求めなさい」とも語られています。すなわち、祭司に相応しい務めができるよう、努めなさいということです。

今世界中がそれぞれ自分の国、自分の義を主張し、「平和」と「正義」という言葉を口にしていながら、争い、憎み、裁き合っています。そこの人間の幸いはなく、宝と思える輝く人の姿もありません。しかし、教会はそれぞれ自分の義、自分の國を生きるものではなく、あらゆる憎しみ、妬み、争いによらず、聖なる大祭司イエス・キリストを通して受けた、自らを与える神の義と神の愛、神の國を生きるもののです。それによつて世界に対し、祭司の務めをなすものです。

2023年度

詩篇119編を読む

教 会全体課題

協会共同訳 テト（ヘブライ語の第9番目のアルファベット名称—この65節～72節はヘブライ語聖書ではテトから

日々聖書に聴き、

御言葉に従つて歩む。

始まつている。）

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、
混じりけのない靈の乳を慕い求めなき
い。これを飲んで成長し、救われるよ
うになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

六五 主よ、あなたは御言葉のとおりに

僕によくしてくださいました。

六六 優れた分別と知識を私に教えてください。

私はあなたの戒めを信じています。

六七 苦しみに遭う前、私は迷っていました。

しかし今は、あなたの仰せを守っています。

六八 あなたは善い方、善いことをなさる方。

あなたの徳を教えてください。

六九 傲慢な者らは偽りで私を汚しましたが
私は心を尽くし、あなたの諭しに従います。

七〇 彼らの心は脂肪に覆われ、鈍くなっています。

私は、あなたの律法を喜びとします。

七一 苦しみに遭つたのは私には良いことでした。
あなたの徳を学ぶためでした。

七二 あなたの口から出る律法は私には良いもの。
几千の金や銀にまさります。

今後の予定

○第一礼拝後にぶどうの会を行います。第二礼拝の前まで、場所はカナンルームです。

○二月三日 アドベント入り

信仰者たちに学ぶ会
教会員懇談会

○二月一日 幼稚園クリスマス

○二月一七日 定例役員会

○二月二四日 クリスマス礼拝（二回礼拝）

クリスマスイブ礼拝収録・配信

○二月三一日 年末礼拝（二回礼拝）

今日のお知らせ

○第二礼拝後、礼拝堂の飾り付けをします。

○運営委員会をはじめ各種委員会がそれぞれ開かれます。

○本日、吉村和雄名誉牧師は茨木教会での説教奉仕のため不在です。

○紫園香音楽伝道師は、二月二日（土）一九時から日本イエスキリスト教団伊奈福音キリスト教会（長野）クリスマス伝道コンサートで演奏されます。

『今日の讃美歌 現代語訳』

讃美歌 279番

1. この世で誇りとされる知恵や悟りは
頼りにならないものだと教えてください

月の青い輝きよりも澄み渡る真実の光を
私の魂に 注いでください

2. この世で求められる愛情は
移ろいやすいものだと悟らせてください
夜明けの光よりも清い主の永遠の愛で
私の魂をみたしてください

3. 主にあつて生きている私の命
その純粹な喜びを歌わせてください
眞実、愛、命、希望は主から頂いたもの
イエス・キリストをあおがせてください



『手仕事の会オリーブより』

次週一二月三日、九時五〇分～一〇時二〇分
と第二礼拝後、手仕事の会オリーブが、お馴染
みのケーキ、クリスマスカード類、プレゼント
グッズの販売をいたします。場所は一Fロビー
か園庭です。どうぞおいでください。ケーキの
価格は一〇〇円です。

説教 「主イエスを愛する」
聖書 ルカ7章44～50節
説教者 菊池美穂子副牧師

『次週の礼拝』

● 子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「ザカリアへのお告げ」
聖書 ルカ1章5～25節

説教者 宮間彰広兄

● 第一礼拝 午前9時30分

讃美歌 97番 113番

説教 「あなたの願いは聞き入れられた」
聖書 ルカ1章5～23節

説教者 菊池美穂子副牧師

● 第二礼拝（午前11時）

讃美歌 95番 165番

説教 「あの人のように話した人はいません」
聖書 ヨハネ7章25～52節

説教者 黄允湜牧師

『今日の子ども礼拝』

第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 79番 294番

説教 「これほどの信仰を見たことがない」

聖書 ルカ7章1～10節(新約P115)

司式 石川一兄

聖餐司式 黄允湜 牧師

説教者 宮間彰広兄

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 27番 279番

説教 「うわべだけで裁くのをやめなさい」

聖書 ヨハネ7章1～24節(新約P177)

司式 石川一兄

聖餐司式 黄允湜 牧師

説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」 J.G.ヴァルター

○讃美歌79番

1.ほめたたえよ つくりぬしを
きよきみまえにひれふし
ささげまつれ身をも魂をも
たぐいなき御名をあがめて
2.くすしきかな かみのちから
あらぶる波をしずめて
あやうきより御民を守り
この世のなやみに勝たしむ
3.めぐみの神 さかえの主を
もろごえあげてたたえよ
つよき手もてみちびきたもう
主にのみみさかえつきざれ アーメン

○讃美歌294番

1.みめぐみゆたけき 主の手にひかれて
この世の旅路を あゆむぞうれしき
* くりかえし
たえなるみめぐみ 日に日にうけつつ
みあとをゆくこそ こよなきさちなみ
2.さびしき野べにも にぎわう里にも
主ともにいまして われをぞみちびく *

3.けわしき山路も おぐらき谷間も
主の手にすがりて やすけく過ぎまし *

4.世の旅はてなば 死のかわなみをも
恐れず越えゆかん みたすけたのみで *

アーメン

聖餐曲「ピエ・イエス」 G.フォーレ

後奏曲「アレグロ・ヴィヴァーチェ」 A.ギルマン

前奏曲「イエスよ、今天より降りたまえや」 J.S.バッハ

○讃美歌27番

○讃美歌279番

聖餐曲「ピエ・イエス」 G.フォーレ

後奏曲「アレグロ・ヴィヴァーチェ」 A.ギルマン

* 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。